

特別活動学習指導案

題材名：10年後の私

〔(3)－ウ 主体的な進路の選択と将来設計〕

授業日時 令和3年10月20日（水）第3校時

授業学級 3年A組

授業会場 3年A組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

「10年後の自分」について考え、その実現のために必要なことを見いだすことができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：「10年後の自分」のために、今までの自分の取組を振り返り、これからの取組について考える。
- ・活動：マンダラートを活用して、「10年後の自分」のために、今の自分にとって必要なことを見いだす。

(3) 展開

過程	学習活動	◇教師の指導・支援 評価	時間
活動の開始	自己の見返し 1. 現時点での自分の将来の目標を設定する。	◇10年後、どのような大人になりたいですか。または、どのような生活をしていきたいですか。そのために、今行っていることはなんですか。 ◇将来のために行っている具体的な取組や今後必要な取組について尋ね、課題を設定する。	10
		【議題】「10年後の自分」のために、今からできることを考えよう。	
活動の展開	2. マンダラートの中心に「10年後の自分」を記入し、そのために必要なことを記入する。	◇マンダラートを紹介し、どのように活用するかモデルを示しながら確認する。 ◇マンダラートの中心に「10年後の自分」の姿、周辺に目標実現に向けて行っている現在の取組を九つ記入するように促す。 ◇「できること」を応用して、さらにできることを考えたり、「できないこと」を克服するために、どのような取組をする必要があるのかを考えたりして、記入するように促す。	20
	3. マンダラートに記入したことを4人グループで共有する。	◇自分の取組をグループ内で発表するように促す。そして互いにアドバイスし合うように伝える。 ◇「10年後の自分」のために、今すぐ取組ことを決めだすように促す。	15
活動のまとめ	3. 本時の学習を振り返る。	○「10年後の自分」のために、今からできることは何ですか。授業を通して考えたことを書きましょう。 ◇マンダラートの有効性やグループ共有の有効性についての振り返りを取り上げ、全体へ紹介する。 【評価】10年後の自分について考え、その実現のために必要なことを見いだしている。 (発言・ワークシート)	5

